

## 目標達成計画

作成日： 令和 2 年 1 月 8日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	1	利用者様の日常生活自立度の状態の変化、また利用者様、家族様のニーズも変化してきている。変化に対応し利用者様への関りや取り組みの見直しが必要である。	利用者様の身体的、精神的変化に対応できるグループホームである。	グループホームとして利用者様の生活を支える立場として、自らの役割について原点に立ち戻り、現在の理念の良いところは引き続き実践していき、新たな課題に対しては管理者・職員で話し合い今後の方向性を決めていく。	6ヶ月
2	38	パーソンセンタードケアを実践し利用者様の意向に合わせて支援を行ってはいるが、日々のケアの中でどうしても職員側の都合で遂行される場合がある。	パーソンセンタードケア、利用者様一人ひとり個別ケアを実践しているグループホームを目指す。	利用者様主体を大原則としてサービスに関わっていく。グループホームは生活の場であることを再認識し、利用者様がその日をどのように過ごしたいか希望を聞き取ることが出来ているかまで、自らの関りを振り返って見直し、パーソンセンタードケアを実践する。	6ヶ月
3	48	利用者様の日常生活自立度の低下から、現状としてどうしても受け身の生活になってしまっていることは否めない生活である。	利用者様が役割を担っている実感を得ることができ、達成感や充実感を感じ、生きがいをもって生活できるグループホームを目指す。	利用者様一人ひとりの生活歴や残存機能を活かした役割を担って頂く。洗濯ものを干して頂く事や、食器の拭き上げをして頂く事で生活に張りやリズムが出来ると共に達成感を感じていただけるように取り組んでいく。、また、手芸など楽しみ事にも取り組み、生活の中に役割と楽しみの場面を設けメリハリをつけていく。	6ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。